

## 令和6年度 第1回久留米市立図書館協議会 会議録

- 1 日 時 令和6年8月27日（火）午後14時00分～15時00分
- 2 会 場 久留米市立中央図書館 3階会議室
- 3 出席者 山田会長、梅野副会長、友野委員、境委員、大鶴委員、中島委員、永松委員、鳥越委員、稲益委員、高山委員、富田委員、菊地委員、塚本委員、玉岡委員、山野委員  
(欠席者：永利委員)
- 4 事務局 井手館長、白谷主幹、臼井司書主幹、田中補佐、前田補佐、有田主査、深川主査、中園
- 5 次 第
  - (1) 開会
  - (2) 議事
    - ① 令和5年度 久留米市立図書館事業報告
    - ② 令和6年度 久留米市立図書館運営方針及び事業スケジュール
  - (3) その他

### ～ 質 疑 応 答 ～

委 員：①雑誌スポンサーの募集はどのように行っているのか。また、現在のスポンサー数はいくつか。  
②蔵書数の推移について。令和5年度の中央館と田主丸館の蔵書数が前年と比較して大幅に減少しているのは何故か。  
③本の福袋の配布実績について報告願いたい。

事務局：①ホームページで募集を行っている。図書館に所蔵している雑誌の中からスポンサーになる雑誌を選んでもらい、一年間その雑誌の購読料を負担していただいている。現在7企業様より25誌の提供をいただいております、中央館、六ツ門館、北野館、城島館、三潯館で所蔵している。

事務局：②田主丸館については、浸水被害による図書の汚損のため約1.5千冊を除籍し、浮島小学校へ約9.1千冊を避難、他館へ数千冊の所蔵替えを行った。その後、田主丸館仮出張所の開設にあたって、各館へ分散させていた本の一部約3千冊を田主丸館へ寄せ、それに浮島小学校にある約9.1千冊を合わせた約9.4千冊が田主丸館の所蔵となっている。  
中央館については、田主丸館仮出張所へ所蔵を移した分に加え、通常であれば予算の95%まで図書を購入できたものが、全庁的な執行抑制があったため80%までしか執行できなかったこともあり、結果として受入が少なくなり減少となった。

事務局：③中央館では、子ども選書セット2冊入り26セットで52冊、職員選書セット2冊入り108

セット216冊を貸出。六ツ門館は3冊入り245セットで735冊、北野館は50冊、城島館は3冊入り16セットで48冊、三瀨館は2冊入り30セットで60冊を貸出した。

委員：電子図書館サービスについて。「借りる」・「返す」の手続きは必要なのか。電子書籍は、複数の利用者が1冊の本を同時に見られるものではないのか。

事務局：1冊の本を複数が同時に見られるサービスは高額なため導入していない。

委員：特別貸出による授業支援について。クロームブックの導入により、調べものをするにもクロームブックで済ませてしまい、書籍に頼ることが少なくなっているため、学校図書館の学習情報センターとしての機能の低下を危惧しているところ。学校に貸出している書籍の内容の傾向、冊数の増減など分かれば教えてもらいたい。

事務局：特別貸出は、授業支援として学習の単元の内容に応じた本の貸出をするもの。授業で使用するために申し込みがあった学校に1か月程度の期間で貸出を行っている。  
団体貸出については、読書支援として学校の規模に応じて100冊、200冊、300冊を定期的に貸出している。

委員：宮ノ陣中学校で絵本の読み聞かせ実習の際、1人1冊絵本を選ぶことになっていたのだが、学校の図書室にある絵本だけでは足りないので、中央図書館から100冊選書して届けてもらったことがある。これが特別貸出に該当するのではないかと思う。

委員：①美術館との連携事業について。郷土資料のところにある調べものガイド『久留米餅について知りたい』を資料展示と一緒に展示すれば、皆さんの知識がさらに深まり、久留米餅に対して興味を持ってもらえるのではないかと考える。  
②福祉宅配サービスの対象者について。久留米市以外の居住者も対象か。実績として郵送料がどれくらいかかっているのか教えていただきたい。

事務局：①ご指摘の通り対応する。

事務局：②久留米市居住の方が対象。郵送料については、本庁の単価契約を用いて支払いを行っているため、具体的な数字は把握していない。

委員：令和5年度実績報告について。合同研修会で行ったワークショップは、『読書セラピー』ではなく、『絵本セラピー』ではないか。

事務局：その通り。

委員：移動図書館の利用状況について教えていただきたい。

事務局：令和5年度は34カ所に巡回し、貸出人数は約5.8千人、貸出冊数は約29千冊。

(その他)

事務局：次回の図書館協議会について。来年2月頃の開催を予定している。開催日時については、事務局で調整したうえで、委員の皆様にお知らせする。

委員：私立幼稚園・私立保育園と図書館の更なる連携を望む。これからのビジョンや計画があれば教示いただきたい。

事務局：第4次久留米市子どもの読書活動推進計画が令和7年度で区切りを迎える。新しい計画の策定に向け、委員の皆様の意見を参考にしながら取り組んでいきたいと考えている。